

流れて重なる

静岡の染め展

Dyeing Exhibition

協力：静岡市染色業組合 静岡市立芹沢銈介美術館

後援：静岡市 静岡特産工業協会 公益財団法人静岡産業振興協会 静岡商工会議所

2022.01.28 FRI - **03.06** SUN

開館時間：10:00-19:00(ご入場は閉館の30分前まで) 入場無料 月曜休館



匠宿伝統工芸館

TAKUMISHUKU TRADITIONAL CRAFTS MUSEUM

<https://takumishuku.jp>

静岡に深く流れる染めの系譜

静岡市には「麻機」「賤機」「服織」など布に関係した地名が多く残っています。今川時代には木綿が盛んに作られ、織物や染色業も発展し、紺屋町ができ、型染や手描きの紋染が行われました。そして江戸時代には旧安倍川の川筋に沿って多くの紺屋が繁盛したといわれています。

近代化により紺屋の仕事も減少した中、再興の機を与えたのは大正後期に起こった民芸運動でした。直接には芹沢銈介氏(1956年人間国宝に認定)が静岡やその他の地域に残る染色技術と芸術性の発掘に努力し、その成果が実って、新たな静岡における和染興隆の端緒となったともいわれています。

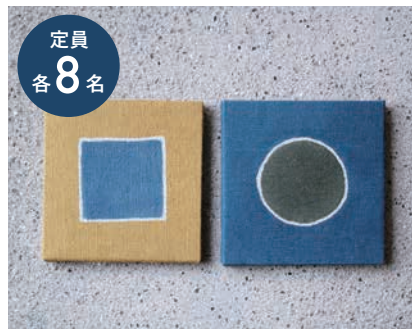
今回の展示では静岡の染めの現在地ともいえる静岡在住作家の数々の作品を展示しながら、芹沢銈介氏と静岡の関わりも少しご紹介できればと思います。

この地に深く染め入る職人技とその歴史をお楽しみいただけますと幸いです。



出展作家 (五十音順)

伊藤喜一郎 (いとう染工)
 稲垣有里 (染織ユトリ)
 大石彩乃 (prototype:)
 大橋俊之 (城北工房)
 櫻井茂雄 (桜井紺屋)
 鈴木健司・鈴木緑 (紺友染色工房)
 増田雅一 (増田あいぜん工房)
 八木省二 (八木染工所)
 鷲巣恭一郎 (お茶染め Washizu.)



▶ ワークショップは定員になり次第受付終了となります。お申込は TEL: 050-3647-4890 (工房竹と染)

2.20 SUN 10:30~12:30 / 13:30~15:30

関連ワークショップ

「和染ファブリックパネルづくり」

講師: 大橋俊之 (城北工房・和染職人)

定員: 各回8名 参加費: ¥4,000- (税込・パネル2枚)

筒がきであらかじめ糊置きした生地を選び、好きな染料を使いながら染めあげていただきます。ご自身で暮らしを彩るパネルを完成させましょう!

・当日は汚れても良い服装でお越しください。
 ・染色した布地を持ち帰りご自宅でパネル貼り



3.1 TUE - **3.6** SUN

記録映画「芹沢銈介の美の世界」上映

1984年製作 / 監督: 村山英治 (カラー35分・館内モニターによるループ再生)

芹沢銈介は、明治の末から大正初期にかけて『大正デモクラシー』の新風そよぐ時代に青春期を過ごし、芸術を志した。やがて工芸の道へと歩みだす。その行く手を指し示したのは、民芸運動の指導者・柳宗悦であり、沖縄の型染「琉球紅型」であった。

作品は多種多彩。型染はもちろん、型絵染を生かした装丁、挿画、そして多くの生活工芸品のデザインにまで及び、どれも比類ない輝きに満ちている。

制作 ポーラ伝統文化振興財団



匠宿伝統工芸館

〒421-0103 静岡県静岡市駿河区丸子 3240-1 駿府の工房 匠宿内

TEL: 054-256-1521 営業時間 10:00~19:00 <月曜休館> 駐車場227台無料



駿府の工房 匠宿は、国内最大級の工芸体験施設。

駿府の工房 匠宿は、静岡に今も大切に伝わる駿河竹筋細工・和染木工・漆塗・陶芸などのさまざまな工芸体験を楽しんでいただけます。ここ匠宿で、是非かけがえのないものづくり体験をお楽しみください。



匠宿

TRADITIONAL
HAND CRAFT
ARTS CENTER

